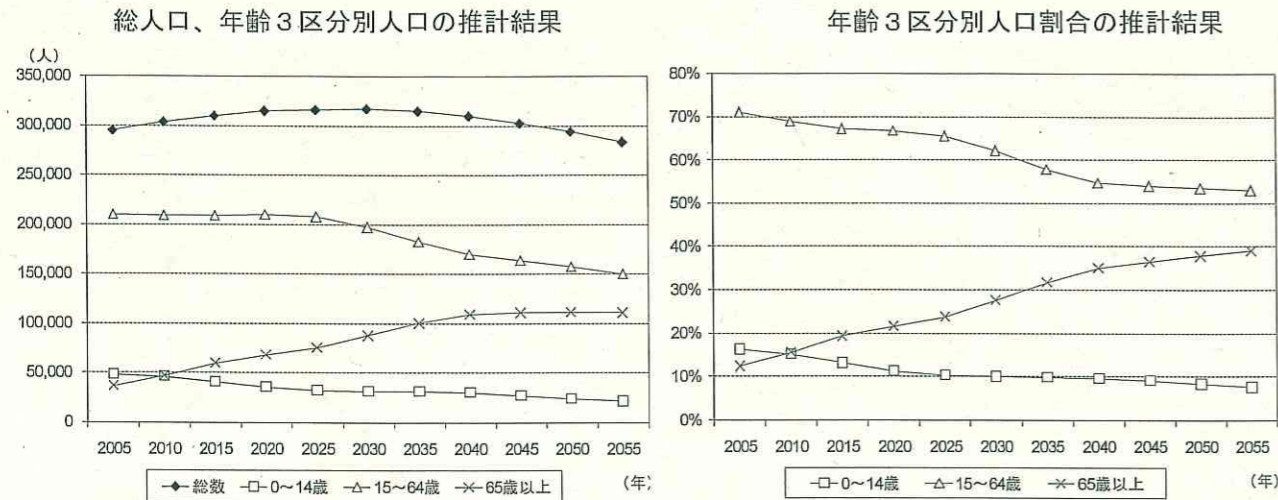


横浜市将来人口推計(2006発表)

青葉区の将来人口推計結果

青葉区の人口は、今後25年程度は人口増加が続くと見込まれており、2030年の総人口は317,557人になると見込まれる。

年齢3区分別にみると、0～14歳の人口は減少し続け、2030年の人口構成比は10.1%となる。一方、65歳以上人口は大幅に増加し、高齢化率は2030年で27.7%になると見込まれる。



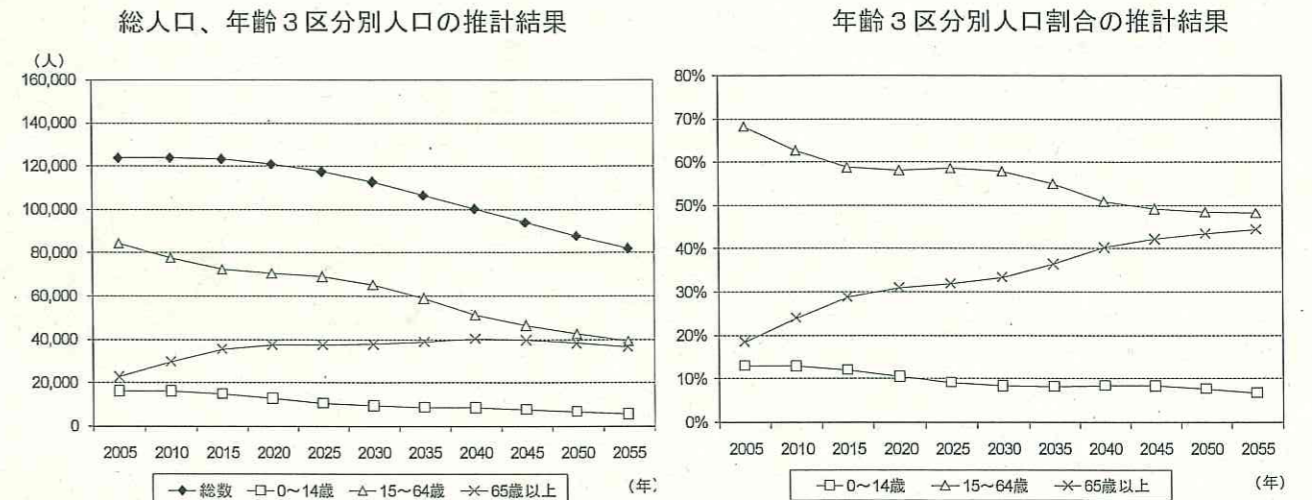
総人口、年齢3区分別人口の推計結果

		2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
人口	総数	295,603	304,041	310,687	314,963	316,907	317,557	315,429	310,567	303,307	294,306	283,704
	0～14歳	48,342	46,596	41,016	35,847	32,869	32,050	31,691	30,495	27,888	24,593	21,765
	15～64歳	210,251	209,728	209,239	210,780	207,822	197,404	183,048	170,628	164,057	157,745	150,707
	65歳以上	37,010	47,717	60,432	68,336	76,216	88,103	100,690	109,444	111,362	111,968	111,232
構成比	総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	0～14歳	16.4%	15.3%	13.2%	11.4%	10.4%	10.1%	10.0%	9.8%	9.2%	8.4%	7.7%
	15～64歳	71.1%	69.0%	67.3%	66.9%	65.6%	62.2%	58.0%	54.9%	54.1%	53.6%	53.1%
	65歳以上	12.5%	15.7%	19.5%	21.7%	24.0%	27.7%	31.9%	35.2%	36.7%	38.0%	39.2%

栄区の将来人口推計結果

栄区の人口は、2010年以降減少すると見込まれており、2030年の総人口は112,867人になると見込まれる。

年齢3区分別にみると、0～14歳の人口は減少し続け、2030年の人口構成比は8.4%となる。一方、65歳以上人口は増加し、高齢化率は2030年で33.5%になると見込まれる。



総人口、年齢3区分別人口の推計結果

		2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年
人口	総数	123,802	124,145	123,384	121,242	117,665	112,867	106,934	100,650	94,238	88,050	81,997
	0～14歳	16,169	16,194	14,955	12,817	10,850	9,523	8,924	8,568	7,886	6,829	5,691
	15～64歳	84,631	77,908	72,660	70,660	69,061	65,499	58,959	51,438	46,489	42,803	39,699
	65歳以上	23,002	30,043	35,769	37,765	37,754	37,845	39,051	40,644	39,863	38,418	36,607
構成比	総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	0～14歳	13.1%	13.0%	12.1%	10.6%	9.2%	8.4%	8.3%	8.5%	8.4%	7.8%	6.9%
	15～64歳	68.4%	62.8%	58.9%	58.3%	58.7%	58.0%	55.1%	51.1%	49.3%	48.6%	48.4%
	65歳以上	18.6%	24.2%	29.0%	31.1%	32.1%	33.5%	36.5%	40.4%	42.3%	43.6%	44.6%

青葉区の15年後の推計値と栄区は今年到達する。
 現在栄区で課題となっていることが将来青葉区でも課題となる。